

火の取り扱いに注意 春の火災予防運動

3月1〜7日、「春の火災予防運動」を実施します。今年度の防火標語は「その火事を防ぐあなたに金メダルです」。火の取り扱いには十分注意し、次のことを実践しましょう。

【3つの習慣】
▽寝たばこは絶対やめる▽ストーブは燃えやすいものから離れた位置で使用する▽ガスこんろなどのそばを離れるときは必ず火を消す。

【4つの対策】
▽住宅用火災警報器の設置▽防炎品の使用▽

住宅用火災警報器などの設置▽隣近所の協力体制をつくる。

また、市消防局は、同運動に合わせ、3月1日(月)午前10時〜正午、JR伊丹駅前同局職員による街頭広報を行います。

◎住宅用火災警報器設置のアンケートを実施
市消防局は、市内約1千500世帯を対象に住宅用火災警報器の設置調査に関するアンケート調査を行っています。回答の協力をお願いします。

＊ ＊ ＊
市消防局予防課 ☎783・0799

ラスタホール

リニューアルオープン

改修工事のため3月31日(水)まで休館中のラスタホールが4月1日(木)に開館します。

貸室利用の予約などは、電話でラスタホールへ。

ラスタホール内の各施設の概要は次の通り。

【①ラスタホール】※フィットネスラスタ
▽開館時間 午前9時〜午後9時(※は午前10時〜午後9時半。いずれも日曜・祝日は午後5時まで)▽休館日 火曜(火曜が祝日の場合は翌日)、年末年始。

フィットネスラスタは、4月1〜12日に施設見学会を行います(要予約)。3月1日から電話でフィットネスラスタへ。

【②図書館南分館(閲覧席の

で前年比1千93件減少でした。事故種別では急病が6千256件と全体の救急出動件数の64%を占めています。

搬送人員は9千47人で前年比1千45人の減少でした。傷病程度別では軽症が4千634人で搬送人員全体の51%を占めています。高齢者(65歳以上)の搬送は5千695人で搬送人員全体の63%を占めています。

【救助】出動件数は160件で前年比10件の増加でした。そのうち、活動件数は95件で前年比1件の増加、救助人員は79人で前年比5人の増加でした。事故種別では建物などによる事故が73件、交通事故が8件です。

火災・救急・救助概要の詳細は市ホームページ(下二次コード)から読み取り可)に掲載。

＊ ＊ ＊
市消防局情報管理課 ☎783・0123

ち、活動件数は95件で前年比1件の増加、救助人員は79人で前年比5人の増加でした。事故種別では建物などによる事故が73件、交通事故が8件です。

火災・救急・救助概要の詳細は市ホームページ(下二次コード)から読み取り可)に掲載。

＊ ＊ ＊
市消防局情報管理課 ☎783・0123

ダイオキシンの測定結果

排ガス(単位:ng-TEQ/m ³ N)		基準値
1号炉	0.000022	0.1
2号炉	0.000020	
3号炉	0.000057	
排水(単位:pg-TEQ/L)		基準値
工場排水	0.0014	10

m³Nは標準状態に換算した気体の体積を表す単位。TEQは毒性等価換算濃度。1ngは10億分の1g。1pgは1兆分の1g

今年度測定結果は上表の通り全て基準値を下回りました。

豊中市伊丹市クリーンランド ☎06・6841・5771

◆クリーンランド各種イベント
豊中市伊丹市クリーンランドは、次の通りイベントを開催します。いずれも無料。

【春の施設見学会・収集車乗車体験】
▽日時 3月16日(火)午前10時10分〜正午
▽内容 施設見学会や収集車へのごみ投入・乗車体験など
▽定員 30人

◆環境フォーラム「SDGs サバが世界を救う」
▽日時 16日(火)午後1時
▽内容 鯖や社長の石田孝直さんによるSDGs目標14「海の豊かさを守ろう」の達成に向けた講演
▽定員 60人

【牛乳パックでビッグヨーヨー作り】
▽日時 21日(日)午後1〜2時
▽定員 20人

【※展望フロア一般開放】
日 21日(日)午前10時〜午後3時
(施設見学会は午前10時15分、10時半、午後1時半。定員各10人。先着順。当日直接会場へ)

【フルディックウォーキング(はじめて講座)】
▽日時 28日(日)午後1時半(荒天中止)
▽内容 2本のストック(無料貸し出し)を使用して歩き方の初歩から学ぶ講座など
▽対象 定員 小学生以上20人

＊ ＊ ＊
豊中市伊丹市R・センター ☎06・6841・8152へ(※除く)。先着順。

の改良などに役立ちます。

市ホームページ(左二次コード)から読み取り可)から電子申請で回答を。

＊ ＊ ＊
市ホームページ(左二次コード)から読み取り可)から電子申請で回答を。

＊ ＊ ＊
市ホームページ(左二次コード)から読み取り可)から電子申請で回答を。

の改良などに役立ちます。

市ホームページ(左二次コード)から読み取り可)から電子申請で回答を。

＊ ＊ ＊
市ホームページ(左二次コード)から読み取り可)から電子申請で回答を。

＊ ＊ ＊
市ホームページ(左二次コード)から読み取り可)から電子申請で回答を。

生活援助ヘルパー養成 動画で研修を実施

市は、16歳以上の市民(資格不問)を対象に、介護が必要な高齢者に介護保険サービスの生活援助を提供する上で、必要な知識を習得するための研修を実施

◆令和2年中の火災・救急・救助概要(速報版)「火災」火災件数は49件で、前年比6件の増加でした。火災による死者は2人で、前年と同数、負傷者は15人で前年比11人の増加でした。出火原因は、放火(疑い含む)が11件で全火災の22%を占めています。

【救急】出動件数は9千711件

◆子ども食堂などについてアンケートを実施
市は、子どもの居場所の設置を推進することを目的に、3月31日までアンケートを実施しています。

対象は、子ども食堂など、子どもの居場所づくりに関心のある人。

市ホームページ(左二次コード)から読み取り可)から電子申請で回答を。

＊ ＊ ＊
市ホームページ(左二次コード)から読み取り可)から電子申請で回答を。

◆子ども食堂などについてアンケートを実施
市は、子どもの居場所の設置を推進することを目的に、3月31日までアンケートを実施しています。

対象は、子ども食堂など、子どもの居場所づくりに関心のある人。

市ホームページ(左二次コード)から読み取り可)から電子申請で回答を。

＊ ＊ ＊
市ホームページ(左二次コード)から読み取り可)から電子申請で回答を。

◆子ども食堂などについてアンケートを実施
市は、子どもの居場所の設置を推進することを目的に、3月31日までアンケートを実施しています。

対象は、子ども食堂など、子どもの居場所づくりに関心のある人。

市ホームページ(左二次コード)から読み取り可)から電子申請で回答を。

＊ ＊ ＊
市ホームページ(左二次コード)から読み取り可)から電子申請で回答を。

◆子ども食堂などについてアンケートを実施
市は、子どもの居場所の設置を推進することを目的に、3月31日までアンケートを実施しています。

対象は、子ども食堂など、子どもの居場所づくりに関心のある人。

市ホームページ(左二次コード)から読み取り可)から電子申請で回答を。

＊ ＊ ＊
市ホームページ(左二次コード)から読み取り可)から電子申請で回答を。



接種しましょう 新型コロナウイルス

新型コロナウイルスが1年以上、市民生活や社会全体に大きな負の影響を及ぼし続けています。

市民や事業者の皆さんには感染拡大防止にご協力をいただき、感染第3波の新規感染者は減少傾向にあります。しかし、医療現場のひっ迫が今

なお続くとともに、第4波の襲来を危惧する専門家もいます。こうした中、感染を収束させる切り札が、新たに開発されたワクチンの接種とされています。接種を受けた人は体内に免疫ができ、ウイルスに感染しにくくなります。

そして免疫を持った人が増えれば、社会全体で「集団免疫」が獲得でき、コロナ感染は収束に向かいます。

我が国でも既に医療関係者へのワクチン接種が始まっています。今後の皆さんへの接種に当たり、ワクチンなどの確保は国が行いますが、具体的接種は市

の役割となつていきます。20万市民に接種となると大事業です。このため本市では、昨年からの新たな組織を設置し、接種体制、接種場所、相談体制などについて、伊丹市医師会の先生方をはじめ医療関係者の皆さんの協力をいただきながら準備を進めてきました。

ワクチンの確保が順調に進めば、3月下旬、高齢者に接種券を発送し、4月1日以降に接種を開始、その他の皆さんについては、4月中旬に接種券を発送し、基礎疾患のある人などを優先して順次接種を開始、秋ごろには希望される全ての市民の皆

さんの接種を終えたいと考えています。接種場所は、市内の特定の公共施設と市内の指定する診療所となる予定です。

接種の対象者や方法、副反応の可能性など、ワクチン接種に対する質問は、市新型コロナウイルスコールセンター(本紙1面参照)に問い合わせください。詳細な情報は、市ホームページや本紙を通じて決定次第、随時お知らせします。

早期にコロナ禍を終わらせるため、皆さんの理解と協力をお願いします。

(市長 藤原保幸)

の役割となつていきます。20万市民に接種となると大事業です。このため本市では、昨年からの新たな組織を設置し、接種体制、接種場所、相談体制などについて、伊丹市医師会の先生方をはじめ医療関係者の皆さんの協力をいただきながら準備を進めてきました。

ワクチンの確保が順調に進めば、3月下旬、高齢者に接種券を発送し、4月1日以降に接種を開始、その他の皆さんについては、4月中旬に接種券を発送し、基礎疾患のある人などを優先して順次接種を開始、秋ごろには希望される全ての市民の皆